

第5回

# WEATHER-Eye オープンフォーラム

開催日 2020年12月1日 火 13:00-16:25

会場 オンライン (Zoom) 定員 500名 / 参加費無料

プログラム 第I部

13:05-13:25 基調講演 1 「航空機の気象安全技術に関する SUBARU の取り組み」  
荻巣 敏充 氏 (株式会社 SUBARU)

13:25-13:55 基調講演 2 「乱気流予測の取り組みについて」  
長嶋 哲矢 氏 (三菱重工業株式会社)

13:55-14:25 特別講演 「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進」  
高橋 暢宏 氏 (名古屋大学宇宙地球環境研究所)

第II部

14:40-16:20 一般講演 5件  
(東京農工大学、三菱スペース・ソフトウェア、熊本大学、JAXA (2件))

参加方法

公式 HP にて事前登録 (11/2 (月) 受付開始)

<https://www.weather-eye.jp/event/weye2020.html>

配信 URL: 事前登録者に別途電子メールでご案内



## 航空の次世代技術、気象への挑戦

後援/協賛

国土交通省、文部科学省、CARATS、航空交通管制協会  
電気学会、土木学会、日本ガスタービン学会、日本機械学会  
日本気象学会、日本技術士会、日本光学会、日本航空宇宙学会  
日本航空宇宙工業会、日本航空機操縦士協会、日本航空技術協会  
日本雪氷学会、日本複合材料学会 (すべて予定)

主催/お問い合わせ



気象影響防御技術 (WEATHER-Eye) コンソーシアム事務局  
[info@weather-eye.jp](mailto:info@weather-eye.jp)



気象影響防御技術

# WEATHER-Eye



WEATHER-Eye : Weather Endurance Aircraft Technology to Hold, Evade and Recover by Eye

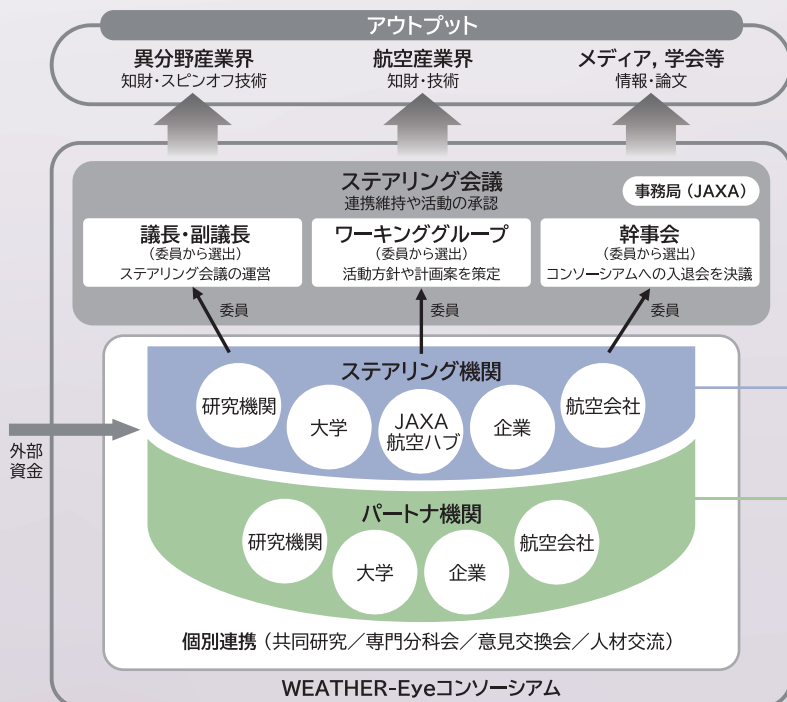
## WEATHER-Eye コンソーシアム

特殊気象（雪氷・雷・火山灰・乱気流等の航空機に影響を与える気象）から航空機を守るため、気象影響防御技術（WEATHER-Eye）の研究開発への取り組みを2015年から開始、2016年にはコンソーシアムを設立しました。航空工学の枠を超えた産官学のオールジャパン体制で研究開発を加速させています。

— 2016年1月15日

気象影響防御技術の研究開発に関する連携協定 締結

気象影響防御技術コンソーシアム（別称：WEATHER-Eye コンソーシアム）設立



国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

国立大学法人大阪大学

神奈川工科大学

関西大学

気象庁気象研究所

国立大学法人北見工業大学

国立大学法人熊本大学

株式会社 JAL エンジニアリング

株式会社 SUBARU

株式会社センテシア

全日本空輸株式会社

双日株式会社

国立大学法人東京大学

国立大学法人東京農工大学

学校法人東京理科大学

国立大学法人東北大学流体科学研究所

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所

国立大学法人名古屋大学ナショナルコンポジットセンター

日本航空株式会社

日本特殊塗料株式会社

国立研究開発法人防災科学技術研究所

丸紅エアロスペース株式会社

国立大学法人山形大学

アドバンスソフト株式会社

株式会社 ikura AI (予定)

株式会社ウェザーニューズ

AeroEdge 株式会社 (予定)

エスベック株式会社

株式会社エムティーアイ

株式会社 JALUX

大同大学 (予定)

DoerResearch 株式会社 (予定)

日本アビオニクス株式会社

日本ペイント・サーフケミカルズ株式会社

福井県

三菱重工業株式会社 民間機セグメント技術統括室

三菱スペース・ソフトウェア

山田技研株式会社



気象影響防御技術 (WEATHER-Eye) コンソーシアム

<https://www.weather-eye.jp/>

加入機関 (全 38 機関 2020.11 時点) ※五十音順